

# 掛川市立城北小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年4月19日(木)

4月19日(木)に、掛川市立城北小学校で古代体験の出前授業を行いました。火起こし体験、土器の分類体験、黒曜石の試し切り体験に取り組みました。それぞれの体験を通して、古代の人々の暮らしや歴史に関心を持ち、その苦勞に触れることができました。

この体験が、今後の学習に生かされることを期待しています。



◎石器(黒曜石)試し切り体験

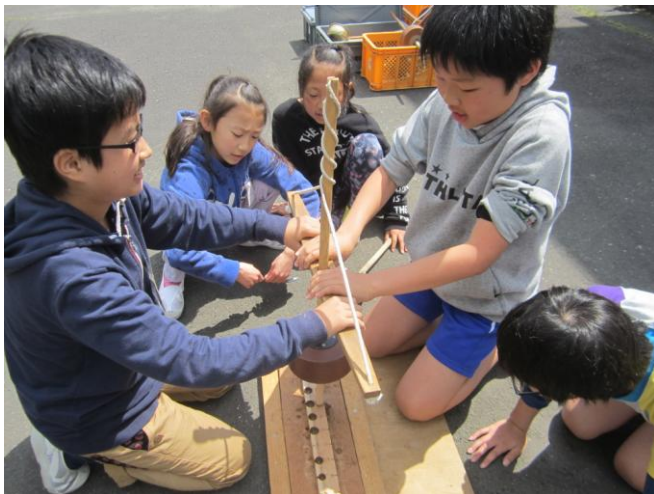
## ◎土器分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器(すえき)の実物を見ながら、それぞれの説明を受けました。そして、いよいよ分類に挑戦、土器片の特徴を観察し、みんなで相談をして分類しました。しかし、正しく分けるのは難しく大変でした。本物の土器にさわった感想はどうだったのでしょうか？



## ◎火起こし体験



本物の石器に触れてみました。黒曜石は、遠くから運んでこなければなりません。なんと長野や伊豆諸島からも運ばれたものもあるとの説明に驚きました。また、実際に黒曜石を使って野菜くずや紙を切ると驚くほどよく切れました。



火を起こすことは大変でした。二人で息を合わせて弾み車を回し火種をつくり、けむりにむせながら息を吹きかけると、炎が上がりました。火を使うことで、煮たり焼いたりしておいしく食べ、明るく・暖かく生活することができるようになりました。その火を手に入れるのにはとても苦勞することを身をもって体験し、火の大切さを実感できました。